

パン用小麦新品種「せときらら」の推奨品種採用と高品質栽培技術の確立

■開発のねらい

京都府では「農林61号」や「ニシノカオリ」などが作付けされていましたが、実需者から収量の増加と品種の一本化を要望され、製パン性に優れる「せときらら」を提案しました。

一方で「せときらら」は、実肥を施用しないとタンパク質含有率が上がりにくい品種とされてきました。

そこで、製パン性に優れた「せときらら」を推奨品種に採用し、タンパク質含有率を確保(12%以上)する栽培方法を明らかにしました。

■技術の効果

- せときららの特徴(表1)
 - ①出穂期、成熟期は「ニシノカオリ」と同等で「農林61号」より4日早い
 - ②稈長は「農林61号」より短く耐倒伏性は強い
 - ③収量は「農林61号」と同等で「ニシノカオリ」より多収
 - ④「せときらら」はタンパク質含有率が低下しやすい
- 出穂10日後に実肥(硫安)をN6kg/10a施用すると、所内、現地ほ場共にタンパク質含有率12%を確保(図1、2) 収量は「農林61号」と同等
- 赤かび病への罹病性は「農林61号」と同程度。

■経営への効果

「せときらら」の導入により農林61号と比べ10,000円/10a程度所得が向上(表2)

■普及のポイント

集落営農などの集約的な取り組みにより、規模拡大や団地化を図ることで一層の収益向上が可能です。

ほ場の排水対策(うね立て、明渠の設置など)が収量確保には不可欠で、出穂後の追肥(実肥)の施用が品質確保には不可欠です。



写真1 「せときらら」と「農林61号」

表1 麦推奨品種決定調査の概要

施肥条件	品種系統名	播種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m)	倒伏程度 (0-5)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	タンパク質含有率 (%)
標肥 対照参考	せときらら	11.12	4.15	6.04	88	7.9	449	0	43.4	40.2	8.9
	ニシノカオリ	11.12	4.15	6.03	87	6.9	444	0	30.4	40.0	11.4
	農林61号	11.12	4.19	6.08	97	7.9	490	1.6	42.0	42.6	9.3
多肥 対照参考	せときらら	11.12	4.14	6.05	88	8.4	444	0	50.4	40.0	9.5
	ニシノカオリ	11.12	4.14	6.05	91	6.9	557	0	39.2	41.0	12.3
	農林61号	11.12	4.19	6.08	100	8.0	562	1.8	52.4	42.5	9.7

試験年次はH26-28年(2014-2016)。播種量は3年とも7kg/10a。基肥は多肥区と標肥区を設けた。倒伏程度: 無(0)~甚(5)

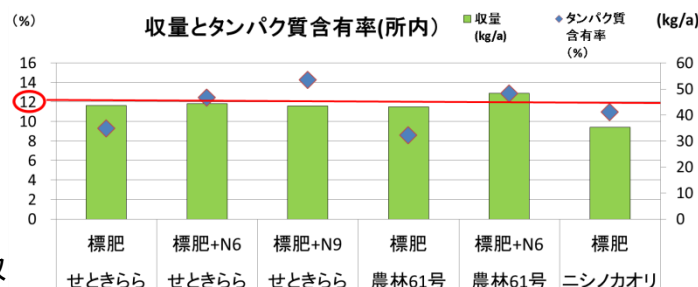


図1 収量とタンパク質含有率の関係(所内)

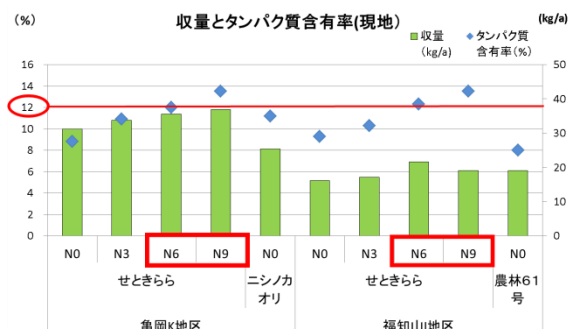


図2 収量とタンパク質含有率の関係(現地)

注) 基肥は現地慣行とした。横軸は実肥窒素施肥量 kg/10a。

表2 せときらら(実肥あり)、農林61号(実肥なし)の経営試算(円/10a)

	せときらら (実肥あり)	農林61号 (実肥なし)	経営者所得の 差額
粗収入	89,450	77,200	
経営費	44,343	42,444	
経営者所得	45,107	34,756	10,351
収量(kg/10a)	300	300	
等級	一等 Bランク	一等 Cランク	実肥施用によるタン パク質含有率向上
試算条件	畑作物の 直接支払い交付金 実肥施用の有無	パン・中華麵用品種 それ以外品種 6040円/60kg 実肥(硫安N6kg/10a) 施用	